平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場会社名　穴吹興産株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8928　URL　http://www.anabuki.ne.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 穴吹　忠嗣
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 冨岡　徹也　TEL 087-822-3567

四半期報告書提出予定日　平成23年5月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	35,741	△0.1	708	―	259	―	△117	―
22年6月期第3四半期	35,790	21.8	△754	―	△1,287	―	△755	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	△4.42	―
22年6月期第3四半期	△28.10	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	46,905	7,361	15.0	263.86
22年6月期	44,251	7,557	16.4	272.16

(参考) 自己資本　23年6月期第3四半期　7,036百万円　22年6月期　7,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	―	2.00	―	2.00	4.00
23年6月期	―	2.00	―		
23年6月期(予想)				3.00	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,940	△15.0	2,300	29.5	1,610	47.2	700	6.0	26.25

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年6月期3Q	28,839,000株	22年6月期	28,839,000株
② 期末自己株式数	23年6月期3Q	2,169,358株	22年6月期	2,169,358株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年6月期3Q	26,669,642株	22年6月期3Q	26,885,259株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（第３四半期連結会計期間） …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
販売び契約の状況 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成22年７月１日から平成23年３月31日の９ヶ月間）におけるわが国経済は、アメリカやアジア向けの輸出や生産活動の復調が、企業の設備投資や雇用へもプラスの影響を与えており、踊り場からの脱却の兆しがみられました。しかしながら、食料品や原油価格の高騰が一部の業種の収益を圧迫しているのに加えて、平成23年３月11日に発生した東日本大震災が、工場の被災や物流の寸断、さらには電力不足による生産活動の停滞など企業活動にも深刻な影響を与えており、先行きが不透明な経済環境となっております。

このような状況の中で、当社グループは引き続き主力である分譲マンション事業において収益改善に努めるとともに、新たな収益源の確保を目的として、将来性の高い事業への投資を積極的に進めてまいりました。平成22年８月には、マンションへの高圧一括受電による割安な電力提供サービスと住宅設備のリースサービスを目的とし、新会社「あなぶきパワー＆リース株式会社」を設立いたしました。平成23年３月には、環境を意識した新商品となるエコ仕様マンション「アルファスマートレインボー通り　エコエディション（香川県高松市）」の販売を開始いたしました。また、連結子会社あなぶきメディカルケア株式会社において、高齢者向け住宅の第２号物件となる平成23年９月完成予定の住宅型有料老人ホーム「アルファリビング広島中広（広島市西区）」の入居募集を開始いたしました。

また、人材サービス関連事業におきましては、人材派遣に大きく依存した事業構造を転換し、収益を改善するため、アウトソーシング事業の強化などの施策に取り組みました。また、主力の人材派遣業は、当社グループが本店を置く四国地域では、期末にかけて派遣労働者数が前年同月実績を上回るなど、持ち直しの動きが顕著になってきました。

当第３四半期連結累計期間（９ヶ月）における売上高は35,741百万円（前年同期比0.1％減）、営業利益708百万円（前年同期は営業損失754百万円）、経常利益259百万円（前年同期は経常損失1,287百万円）、四半期純損失117百万円（前年同期は四半期純損失755百万円）となりました。これは、新築マンションの引渡による売上計上が第４四半期連結会計期間に集中するためであります。そのため、当社グループの当第３四半期連結累計期間における売上高進捗率は、平成23年６月期の連結業績予想に対し63.9％（前年同期は54.4％）となっておりますが、業績予想における当第３四半期連結累計期間の計画とほぼ同水準で推移しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である新築分譲マンション事業において、当社の事業エリアでの需給バランスの改善に加え、税制や住宅ローンの金利優遇など政策面での効果によって個人の住宅購買意欲が後押しされ、多くのエリアで販売状況が好転いたしました。

当第３四半期連結累計期間における新築分譲マンションの販売状況につきましては、契約戸数は1,778戸（前年同期1,469戸）と第３四半期累計ベースで過去最多の契約戸数となりました。また、売上戸数は1,055戸（同1,056戸）となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は26,831百万円（前年同期比0.4％増）、営業利益は535百万円（前年同期は営業損失1,074百万円）となりました。

② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、主力の人材派遣事業において安定収益の確保に努める一方で、アウトソーシング事業を新たな収益の柱に育てるべく、積極的な営業活動を展開しました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は4,393百万円（前年同期比2.3％減）、営業利益は74百万円（同85.5％増）となりました。

③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、売上高は3,234百万円（同3.2％減）、営業利益は63百万円（同58.7％減）となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、売上高は1,281百万円（同5.2％増）、営業利益は29百万円（同76.3％減）となりました。

※　第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。上記のセグメントごとの売上高に係る前年同四半期比は、ご参考のために記載しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結累計期間末の総資産は、前期末に比べ2,654百万円増加し、46,905百万円となりました。これは主に、マンション事業における仕掛販売用不動産が4,670百万円増加したためであります。

負債は、前期末に比べ2,849百万円増加し、39,544百万円となりました。これは主に、マンション事業における長期借入金が2,748百万円増加したためであります。

純資産は、前期末に比べ195百万円減少し、7,361百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少224百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結累計期間（平成22年７月１日から平成23年３月31日までの９ヶ月間）における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は、12,279百万円となり、前期末に比べ2,338百万円増加しました。

当第３四半期連結累計期間（９ヶ月間）における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は、690百万円（前年同四半期は7,678百万円の使用）となりました。これは主にマンション事業における仕入債務の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、498百万円（前年同四半期は287百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は、3,527百万円（前年同四半期は4,270百万円の獲得）となりました。これは主にマンション事業にかかる資金の借入によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年６月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、平成22年８月11日付「平成22年６月期　決算短信」にて公表しました数値から変更はありません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ1,706千円増加、税金等調整前四半期純利益が18,765千円増加しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,293,331	8,949,693
受取手形及び売掛金	825,016	895,024
有価証券	－	1,000,000
販売用不動産	6,989,976	12,987,781
仕掛販売用不動産	16,413,986	11,743,725
その他のたな卸資産	105,837	87,411
繰延税金資産	237,552	308,907
その他	756,697	745,092
貸倒引当金	△20,579	△22,024
流動資産合計	37,601,820	36,695,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,689,827	2,426,216
機械装置及び運搬具（純額）	30,209	30,538
土地	3,686,717	3,362,414
建設仮勘定	1,600	57,260
その他（純額）	446,577	417,984
有形固定資産合計	7,854,932	6,294,415
無形固定資産		
のれん	60,000	78,000
その他	87,782	96,807
無形固定資産合計	147,782	174,807
投資その他の資産		
投資有価証券	154,199	147,543
繰延税金資産	314,700	244,635
その他	849,676	716,779
貸倒引当金	△17,245	△22,458
投資その他の資産合計	1,301,330	1,086,499
固定資産合計	9,304,045	7,555,722
資産合計	46,905,865	44,251,334

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,852,285	7,534,481
短期借入金	9,444,500	8,625,448
1年内償還予定の社債	113,400	―
1年内返済予定の長期借入金	7,192,903	7,568,104
未払法人税等	56,629	226,282
賞与引当金	159,904	310,348
前受金	2,617,032	975,832
その他	1,492,473	2,083,405
流動負債合計	26,929,128	27,323,901
固定負債		
社債	446,600	120,000
長期借入金	11,197,879	8,449,810
退職給付引当金	559,119	516,319
役員退職慰労引当金	73,044	73,044
その他	338,254	211,083
固定負債合計	12,614,897	9,370,257
負債合計	39,544,025	36,694,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	5,911,097	6,135,546
自己株式	△443,935	△443,935
株主資本合計	7,044,240	7,268,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,290	△10,300
評価・換算差額等合計	△7,290	△10,300
少数株主持分	324,889	298,786
純資産合計	7,361,839	7,557,175
負債純資産合計	46,905,865	44,251,334

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成22年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	35,790,276	35,741,098
売上原価	29,516,661	27,932,689
売上総利益	6,273,615	7,808,408
販売費及び一般管理費	7,028,311	7,100,121
営業利益又は営業損失（△）	△754,696	708,287
営業外収益		
受取利息	6,851	4,582
受取配当金	4,010	5,264
還付加算金	22,591	183
その他	27,573	27,394
営業外収益合計	61,026	37,423
営業外費用		
支払利息	560,020	439,094
その他	33,479	46,880
営業外費用合計	593,499	485,974
経常利益又は経常損失（△）	△1,287,168	259,736
特別利益		
固定資産売却益	3,647	1,761
貸倒引当金戻入額	1,984	4,286
債務保証損失引当金戻入額	3,266	1,675
償却債権取立益	12,350	11,643
その他	－	727
特別利益合計	21,248	20,093
特別損失		
固定資産売却損	－	169,133
固定資産除却損	26,745	3,966
投資有価証券評価損	1,344	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	17,059
ＰＣＢ処理費用	－	57,700
その他	3,859	702
特別損失合計	31,949	248,561
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,297,869	31,268
法人税、住民税及び事業税	291,464	123,304
法人税等調整額	△843,245	△367
法人税等合計	△551,780	122,936
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△91,667
少数株主利益	9,298	26,102
四半期純損失（△）	△755,388	△117,770

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	16,878,795	16,129,415
売上原価	14,138,078	12,067,165
売上総利益	2,740,717	4,062,250
販売費及び一般管理費	2,312,265	2,294,571
営業利益	428,452	1,767,678
営業外収益		
受取利息	2,392	1,500
受取配当金	1,741	3,223
その他	3,479	5,323
営業外収益合計	7,613	10,047
営業外費用		
支払利息	187,345	140,340
その他	21,637	19,701
営業外費用合計	208,982	160,042
経常利益	227,083	1,617,683
特別利益		
固定資産売却益	－	1,761
貸倒引当金戻入額	294	2,926
債務保証損失引当金戻入額	932	－
償却債権取立益	4,567	4,239
特別利益合計	5,794	8,927
特別損失		
固定資産除却損	25,657	－
投資有価証券評価損	104	－
その他	3,859	－
特別損失合計	29,621	－
税金等調整前四半期純利益	203,256	1,626,610
法人税、住民税及び事業税	108,731	40,084
法人税等調整額	△29,371	663,263
法人税等合計	79,359	703,348
少数株主損益調整前四半期純利益	－	923,262
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,073	7,969
四半期純利益	124,970	915,292

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年７月１日　至平成22年３月31日）

	不動産関連事業（千円）	人材サービス関連事業（千円）	施設運営事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,734,807	4,495,786	3,341,685	1,217,997	35,790,276	－	35,790,276
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	101,311	15,314	5,461	194,340	316,427	(316,427)	－
計	26,836,119	4,511,100	3,347,147	1,412,337	36,106,704	(316,427)	35,790,276
営業利益又は営業損失（△）	△1,074,146	40,175	152,669	125,958	△755,342	646	△754,696

（注）事業区分の方法及び各区分の主な内容

事業区分は事業内容を考慮して次のように区分しております。

不動産関連事業……マンション・戸建ての分譲、注文住宅の受注、不動産賃貸・駐車場経営

人材サービス関連事業……人材派遣及び有料職業紹介

施設運営事業……ホテル・ゴルフ場等施設運営

その他事業……旅行手配、旅行販売、広告代理

〔所在地別セグメント情報〕

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「不動産関連事業」、「人材サービス関連事業」、「施設運営事業」及び「その他事業」の４つを報告セグメントとしております。

「不動産関連事業」は、マンション・戸建ての分譲、注文住宅の受注及び不動産賃貸・駐車場経営を行っております。「人材サービス関連事業」は、人材派遣、アウトソーシング、人材紹介、再就職支援及びＩＴ関連事業等を行っております。「施設運営事業」は、ホテル・ゴルフ場等の施設運営を行っております。「その他事業」は、旅行手配、旅行販売及び広告代理等を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自 平成22年７月１日 至 平成23年３月31日）

（単位：千円）

	不動産関連事業	人材サービス関連事業	施設運営事業	その他事業	合 計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	26,831,500	4,393,232	3,234,978	1,281,386	35,741,098	－	35,741,098
セグメント間の内部売上高又は振替高	129,032	15,064	6,524	221,868	372,490	(372,490)	－
計	26,960,532	4,408,296	3,241,503	1,503,255	36,113,588	(372,490)	35,741,098
セグメント利益	535,673	74,508	63,034	29,863	703,079	5,207	708,287

（注）調整額は、セグメント間取引の消去であります。

③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

販売及び契約の状況

当第３四半期連結累計期間（平成22年７月１日から平成23年３月31日の９ヶ月間）の販売（売上）実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しており、対前年同四半期比は同基準に準拠し算定したものを参考として記載しております。

セグメントの名称	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	前年同四半期比（％）
不動産関連事業（千円）	26,831,500	100.4
人材サービス関連事業（千円）	4,393,232	97.7
施設運営事業（千円）	3,234,978	96.8
その他事業（千円）	1,281,386	105.2
合計（千円）	35,741,098	99.9

（注）１．本表の金額には、消費税は含まれておりません。
２．セグメント間の取引については相殺消去しております。

《不動産関連事業》

マンションの分譲事業における地域別契約戸数は、次のとおりであります。

地域	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成22年３月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	
	契約戸数（戸）	割合（％）	契約戸数（戸）	割合（％）
四国	511	34.8	547	30.8
中国	372	25.3	536	30.1
近畿	113	7.7	268	15.1
九州	458	31.2	402	22.6
その他	15	1.0	25	1.4
合計	1,469	100.0	1,778	100.0

《人材サービス関連事業》

人材サービス関連事業の地域別売上高は、次のとおりであります。

地域	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成22年３月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	
	売上高（千円）	割合（％）	売上高（千円）	割合（％）
四国	2,272,926	50.6	2,357,504	53.7
中国	828,339	18.4	720,696	16.4
近畿	374,702	8.3	377,444	8.6
中部	271,036	6.0	211,487	4.8
関東	748,781	16.7	726,098	16.5
合計	4,495,786	100.0	4,393,232	100.0

《施設運営事業》

施設運営事業の種類別売上高は、次のとおりであります。

事業の種類	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成22年３月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	
	売上高（千円）	割合（%）	売上高（千円）	割合（%）
ホテル事業	1,447,306	43.3	1,386,515	42.9
施設運営受託事業	1,703,252	51.0	1,666,239	51.5
ゴルフ事業	191,126	5.7	182,223	5.6
合計	3,341,685	100.0	3,234,978	100.0